

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（山本 友菜美）

使用教科書：（大修館書店『新編 言語文化 改訂版』・桐原書店『セレクト漢字検定5級—2級』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社とのかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
1 水かまきり 【知識及び技能】 春子の心情や、直接描かれていない登場人物の心情を想像すること、言葉の意味を文脈から捉える。 【思考力・判断力・表現力】 主題を的確に読み取り、その主題を効果的に伝えるために表現上の特色について指摘できる力を養う。	・登場人物の心情を読み取る ・特徴のある表現について考える。 ・「わたし（春子）」の「ケン坊」に対する心情を考える。 ・特徴のある表現について考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔（1）エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B（1）ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味を持ち、登場人物の人間関係や心理を読みとろうとしている。	○	○	○	15
定期考査						○	○		1
2 いろは歌・古文冒頭選 【知識及び技能】 音読・暗唱することで響きやリズムの特徴をつかむ。 このことで、言葉への興味・関心を高める。 【思考力・判断力・表現力】 自然の描写や心情の表現方法を通して教材に表れている見方・感じ方を感じ取る。	・本文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・本文のおおよその内容を理解する。 ・それぞれの本文を音読し、おおよその内容を理解する。 ・それぞれの文体や表現の違いについて考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。〔（1）ア（2）エ〕 【思考・判断・表現】 ・本文のおおまかな内容を理解している。 ・各文のおおまかな内容を理解している。 ・各文の印象の違いについて、具体的な表現をふまえて考えている。 〔読（1）イウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○	○	○	8
3 児のそら寝 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な分後のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。	・本文を音読する。通読し、大意を把握する。 ・重要語句の意味を考えながら本文を読解する。 ・児の行動とその心理について話し合う。 ・僧たちの稚児に対する心情と行動について話し合う。 ・僧たちが児のそら寝に気づいていたかどうか考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。〔（1）ア（2）エ〕 【思考・判断・表現】 ・本文のおおまかな内容を理解している。 ・各文のおおまかな内容を理解している。 ・各文の印象の違いについて、具体的な表現をふまえて考えている。 〔読（1）イウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○	○	○	12
4 漢字の学習 【知識及び技能】 常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身に付ける。	・常用漢字の読み取り・書き取りを理解する。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔（1）ウ〕	○			9
定期考査						○	○		1



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：別木 萌果

使用教科書：（高等学校 新地理総合（地総-703 帝国書院））

教科 地理歴史

の目標： グローバル化する世界に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

・現代世界の地域的特色を理解し、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、それらを基に対話したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標： ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関する諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、地理的な諸課題の解決に必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・地理に関する諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、自らが構想したことを議論する力がある。	・地理的な思考をもとに現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通してグローバル社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、我が国や他国の文化を尊重する大切さなどを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 1節 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 ・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 4 地理情報システム（GIS）の活用  内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第1部 地図でとらえる現代世界 第2章 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 ・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2節 グローバル化する世界  1 国家間の結び付き 2 貿易によって結び付く世界 3 さまざまな交通網の発達 4 世界を結ぶ通信網の発達 5 観光のグローバル化  内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>1 大地形と人々の生活</p> <p>2 変動帯と人々の生活</p> <p>3 安定地域と人々の生活</p> <p>4 河川がつくる地形と人々の生活</p> <p>5 海岸の地形と人々の生活</p> <p>6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>1 気温・降水と人々の生活</p> <p>2 大気循環と人々の生活</p> <p>3 世界の植生と気候区分</p> <p>4 熱帯の生活</p> <p>5 乾燥帯の生活</p> <p>6 温帯の生活</p> <p>7 亜寒帯・寒帯の生活</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>1 世界の言語と人々の生活文化</p> <p>2 世界の宗教と人々の生活文化</p> <p>4節 歴史的背景と人々の生活</p> <p>1 歴史的背景が人々の生活に与える影響</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>1 人々の生活を支える農業の発展</p> <p>2 人々の生活を支える工業の発展</p> <p>3 グローバル化する現代の産業と人々の生活</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1 地理的な課題と地域調査</p> <p>2 現地調査の準備</p> <p>3 現地調査の実施</p> <p>4 調査の分析と発表</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

教科担当者： (A組： 鯉沼宏仁 板井勝典)

使用教科書： ( 高校数学 I (実教出版) )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けられるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学 I における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりする態度を育む。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・2つの数量の関係を式で表現できる。 関数の値を求めることができる。 ・放物線の形や軸、頂点について理解している。 ・ $y=ax^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	<b>【知識・技能】</b> ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) <b>【思考・判断・表現】</b> ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものに関心を持ち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○			10
	定期考査			○	○		1
	・ $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせであることとらえることができる。 ・ $ax^2+bx+c$ を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 平方完成を利用して2次関数のグラフを調べることができる。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	<b>【知識・技能】</b> ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) <b>【思考・判断・表現】</b> ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものに関心を持ち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○			15
定期考査			○	○	○	3	

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>ax^2+bx+c</math>を <math>a(x-p)^2+q</math>の形に変形できる。</li> </ul> <p>平方完成を利用して2次関数のグラフを調べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数が最大値、または最小値をもつことを理解している。</li> <li>・ 2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて考察しようとする。</li> <li>・ 2次関数の値の変化をグラフから考察できる。</li> <li>・ <math>y=a(x-p)^2+q</math>の形にして、最大値、最小値を求めることができる。</li> <li>・ 2次方程式が解けるようになる。</li> <li>・ 2次不等式が解けるようになる。</li> </ul>	<p>2章 2次関数</p> <p>1節 関数とグラフ</p> <p>2. 2次関数とそのグラフ</p> <p>2節 2次関数の値の変化</p> <p>1. 2次関数の最大値・最小値</p> <p>2. 2次関数のグラフと2次方程式</p> <p>3. 2次関数のグラフと2次不等式</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフの特徴を理解できる。</li> <li>・ 2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。</li> <li>・ <math>y=ax^2+bx+c</math>の式を <math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形(平方完成)することができる。</li> <li>・ 2次関数の最大値・最小値を理解している。</li> <li>・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</li> <li>・ 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、グラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</li> </ul> <p>(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>○</p>				
	<p>定期考査</p>		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>y=ax^2+bx+c</math>の式を <math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。</li> <li>・ 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。</li> <li>・ 定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。</li> <li>・ 日常の事象について、2次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。</li> <li>・ 2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。</li> </ul> <p>(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>○</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの現象で、関数の関係になっているものに関心を持ち、調べようとしている。</li> <li>・ 2次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。</li> <li>・ <math>D=b^2-4ac</math>の符号を用いると、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の関係がまとめられることに興味を持ち、<math>D</math>の式を用いてグラフと共有点の個数を考えようとしている。</li> </ul> <p>(授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)</p> <p>○</p>				14
				○	○		1
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求められる。</li> <li>・ 三角定規の形の三角形の辺の比について理解している。</li> <li>・ 相似な三角形の考察から、三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを理解している。</li> <li>・ 直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。</li> <li>・ 三角比から辺の長さを求められることを、三角比の定義から理解できる。</li> <li>・ 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。</li> <li>・ 三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。</li> </ul>	<p>3章 三角比</p> <p>1節 三角比</p> <p>1. 三角形</p> <p>2. 三角比</p> <p>3. 三角比の利用</p> <p>4. 三角比の相互関係</p> <p>2節 三角比の応用</p> <p>1. 三角比の拡張</p> <p>2. 三角比の面積</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。</li> <li>・ 直角三角形について、三角比の値を求めることができる。</li> <li>・ 三角比の相互関係について理解できる。</li> <li>・ 三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。</li> <li>・ 鋭角の三角比を理解できる。</li> <li>・ 正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。</li> <li>・ 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。</li> </ul> <p>(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>○</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。</li> <li>・ 日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。</li> <li>・ 三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。</li> <li>・ 鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。</li> <li>・ 鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。</li> <li>・ 正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。</li> <li>・ 日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。</li> </ul> <p>(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テ</p>				
						○	



高等学校令和8年度（2学年用）教科

理科

科目 化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（ A組：秋元 翔 ）

使用教科書：（ 高校化学基礎visual 実教出版 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元「化学とは何か」</p> <p>【知識及び技能】 化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 化学とは何か</p> <p>・教材</p> <p>教科書・プリント・ノート・ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)</p>	○	○	○	2
<p>B 単元「物質の成分と構成元素」</p> <p>【知識及び技能】 化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 物質の成分</p> <p>2 物質の構成元素</p> <p>3 物質の三態</p> <p>・教材</p> <p>教科書・プリント・ノート・ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)</p>	○	○	○	5
<p>1 学期</p> <p>C 単元「原子の構造と元素の周期表」</p> <p>【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の事を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 原子の構造</p> <p>2 電子配置と周期表</p> <p>・教材</p> <p>教科書・プリント・ノート・ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

	D 単元「化学結合」 【知識及び技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 イオンとイオン結合 2 分子と共有結合 3 金属と金属結合 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元「物質と化学反応式」 【知識及び技能】 物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質、化学反応式を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 原子量・分子量・式量 2 物質 3 溶液の濃度 4 化学反応の表し方 5 化学反応式の表す量的関係 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・物質、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	F 単元「酸と塩基」 【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩の生成 4 中和滴定 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：河合・松本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むさせるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットイングをみにつける ・集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能）	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエン	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能）				

<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>ドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
--	---	---	---	---	---	----

2 学 期	D バドミントン 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをして、健康・安全を確保したりしている。	個人技能 ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。  ダブルスに関わる技能 ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)  【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。  【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。				10	
	E 陸上競技(長距離) 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解させる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをして、健康・安全を確保したりさせる。	持久走 決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。  【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。  【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	12
	F サッカー 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをして、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、とらッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。  集団技能 ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。(技能)  【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。  【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	4
	F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをして、健康・安全を確保する。	個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。  ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)  【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。  【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	6

3 学 期	<p>G バスケットボール</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。</li> </ul> <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
	<p>H 卓球</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付ける。</li> </ul> <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
							合計
							78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：松本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 健康の考え方 【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	健康の考えかたと成り立ち ・健康については様々な考え方がある ・健康は様々な要因から成り立つ  私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準は向上を続けてきた ・健康問題は時代とともに変化する  健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり ・適切な意志決定、行動選択が重要 ・適切な意思決定、行動選択する為に ・健康に関わる環境作りの重要性	【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
B 現代の感染症とその予防 【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	感染症とその予防 ・病原体が原因の病気を感染症という ・問題となる感染症は変化している ・感染症の予防は社会と個人で取り組む  性感染症、エイズとその予防 ・性感染症、エイズが若者の間で問題となっている ・性感染症、エイズは予防できる	【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
C 生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	生活習慣病とその予防 ・生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という ・生活習慣病を予防しよう  食事と健康 ・食事は健康の基礎である ・健康的な食事をとろう  運動、休養と健康 ・適度な運動が健康をつくる ・休養が疲労を回復し活力を復活	【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
定期考査	A 健康の考え方 B 現代の感染症とその予防 C 生活習慣病などの予防と回復	【知・技】1学期に学んだことを理解している 【思・判・表】1学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	1

2 学 期	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っ てはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	喫煙と健康 ・喫煙は健康に大きな影響をもたらす ・喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる ・たばこ対策は全世界で進められている  飲酒と健康 ・アルコールは脳や体に影響を及ぼす ・長期間の過度の飲酒は多くの問題を引き起こす ・様々な飲酒対策がおこなわれている  薬物乱用と健康 ・薬物は人生を壊す ・自分の周囲や社会にも悪影響	【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っ てはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	E 精神疾患の予防と回復 【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	欲求と適応機制 ・欲求は成長とともに多様化する。 ・欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある。  心身の相関とストレス ・心と体は一体となって働いている ・ストレスは心と体に影響を及ぼす  心の健康のために ・ストレスの対処法 ・自己実現は心の健康につながる	【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 E 精神疾患の予防と回復	【知・技】2学期に学んだことを理解している 【思・判・表】2学期に学んだことを表現している	○	○	○	1
3 学 期	F 安全な社会づくり 【知識・技能】環境の整備とそれに 応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解する。 【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えるとともに、それらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む。	交通事故の現状と要因 ・若者では自動車と二輪車の事故が多い ・3つの要因が関わって交通事故がおこる  交通事故を防ぐためには ・運転者には資質と責任が必要である ・安全な交通社会づくりが進められている	【知識・技能】環境の整備とそれに 応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。  【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えるとともに、それらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	G 応急手当 【知識・技能】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	応急手当の意義のその基本 ・適切な応急手当は命を救い痛みをやわらげる ・応急手当の最初のポイントは確認と観察である。  日常的な応急手当 ・けがに応じた応急手当がある ・熱中症には適切な手当が大切  心肺蘇生法の原理とおこない方 ・心肺蘇生法は原理にもとづいている ・心肺蘇生法には適切な手順がある	【知識・技能】適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。  【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えるとともに、それらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査	F 安全な社会づくり G 応急手当	【知・技】3学期に学んだことを理解している 【思・判・表】3学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	39
合計							

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：大西 房子）

使用教科書：（美術 I 日本文教出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画						
<p>●表現基礎を学ぶ</p> <p>○鉛筆による自己表現</p> <p>○色鉛筆による絵画模写</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>基礎となる線を丁寧に追える。対象の形や色彩、性質や造形的な特徴をイメージや作風として捉えられる。意図に応じて 材料や用具の特性を生かす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>絵画から感じ取った特徴や、自分の思いなどから形や色、構図、材料や用具の特性などを活かす。工夫しながら創造的に表す。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表</p>	<p>オリエンテーション</p> <p>○鉛筆による自己表現、グレースケール。</p> <p>・鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方（調子、光、陰影、立体感など）について理解する。</p> <p>○色鉛筆による絵画模写</p> <p>・色鉛筆の濃淡や重ねの美しさや筆圧などによる遠近感を出すことによって絵画的空間を表現。</p> <p>・教材：鉛筆、色鉛筆、練り消し、画用紙、作業プリント、教科書。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○				<p>【知識及び技能】</p> <p>形や色彩、材料などの性質を理解している。造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などを捉えている。意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫しながら創造的に表そうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>感じ取った特徴などから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考える。創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。</p> <p>・プリント提出</p> <p>・作品提出</p>	○	○	○	18
<p>●静物画（絵画表現）</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>対象の形や色、材質、光などを感情に受けとめ、光や陰影、遠近感などの造形的な特徴から、イメージを捉える。その意図に応じて材質や用具を選択し、その特性を生かし表現を工夫しながら主題を創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>静物を見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから 主題を生成し、形や色、構図、画材や用具の特性などから絵画空間を考え、創造的な構想を練る。【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に静物を描き、造形的なよさや美しさを感じ取り、創造活動に取り組む。</p>	<p>○静物から受けた感動を表現することに関心をもち、感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。</p> <p>○光や陰影、遠近感などの表現などを工夫して制作する。</p> <p>○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫する。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。</p> <p>・教材：アクリル絵の具、黒画用紙、筆、綿棒、筆、スポンジ等、ワークシート、教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○			<p>【知識及び技能】</p> <p>対象の形や色、材質、光などを感情に受けとめ、光や陰影、遠近感などの造形的な特徴やイメージでとらえられる。その意図に応じて材質や用具を選択し、その特性を生かし表現を工夫する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>静物を見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成する。形や色、構図、画材や用具の特性などから絵画空間を考え、創造的な構想を練る。主題を創造的に表そうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に静物を描き、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える。鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	
<p>○有彩紙にデッサン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>基礎となる線を丁寧に追える。対象の形や色彩、性質や造形的な特徴をイメージや作風として捉えられる。意図に応じて 材料や用具の特性を生かす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>絵画から感じ取った特徴や、自分の思いなどから形や色、構図、材料や用具の特性などを活かす。工夫しながら創造的に表す。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表</p>	<p>○有彩紙に黒や白の画材でデッサンし、デッサン表現の基礎的な考え方（調子、光、陰影、立体感など）についてさらなる理解を高める。</p> <p>・教材：鉛筆、色鉛筆、練り消し、コンテ、バステル、有彩紙、作業プリント、教科書。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○				<p>【知識及び技能】</p> <p>形や色彩、材料などの性質を理解している。造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などを捉えている。意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫しながら創造的に表そうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>感じ取った特徴などから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考える。創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。</p> <p>・プリント提出</p> <p>・作品提出</p>	○	○	○	10







